

2008年度決算

〔第65期〕

2009年5月14日



住友軽金属工業株式会社

目次

1. 連結決算概要
2. 単体決算概要
3. 今期業績予想
4. 新中期経営計画策定について

1. 連結概要

① 連結子会社

連結対象

17社



21社

3

アルミ

住軽アルミ箔

群馬アルミニウム(押出形材)

スミケイチェコ(多穴管)

加工品・その他

日本アルミ(産業機器・建材)

住軽エンジニアリング(ハニカム)

岩井金属工業(パネル・電機部品)

※岩井アメリカ・メキシコ

テイネン工業(電機部品)

SLMオーストラリア(アルミ製錬)

スミケイ運輸

伸銅品

東洋フイツテング(銅管継手等)

スミケイマレーシア(銅管)

住軽広州(銅管)

流通

住軽商事

※住軽商タイ・上海

泉メタル

新泉アルミニウム

スミケイ銅管販売

アルミセンター

持分法適用会社

※住軽日軽エンジニアリング

住軽パッケージ

住軽アルパック・住軽テック柏

②連結のポイント

1. 世界的な経済収縮に伴う販売減少と地金価格の下落により大幅減収。
2. 売上の減少に加えて地金価格の暴落による棚卸資産の評価損などにより、大幅な経常損失に。

③ 部門別連結売上高

(単位：億円)

| 連結 | 07年度 | 08年度 | 増減 | 伸率% |
|----------|------|------|------|-------|
| アルミ圧延品部門 | 1821 | 1584 | △237 | △13.0 |
| 伸銅品 | 734 | 564 | △170 | △23.1 |
| 加工品他 | 721 | 634 | △87 | △12.2 |
| 合計 | 3276 | 2782 | △494 | △15.1 |

* 売上高対前期増減事由

| 数量減少 | 地金価格差 | 値上げ | 為替レート差 | 連結子会社減少 | 合計 |
|------|-------|-----|--------|---------|------|
| △302 | △58 | 18 | △51 | △101 | △494 |

* 主要会社別売上高(参考)

| 会社名 | 07年度 | 08年度 | 増減 | 伸率% |
|--------|------|------|------|--------|
| 日本アルミ | 241 | 203 | △38 | △15.8 |
| 住軽アルミ箔 | 192 | 154 | △38 | △19.9 |
| 新日東金属 | 101 | — | △101 | △100.0 |

④ 連結損益

(単位：億円)

6

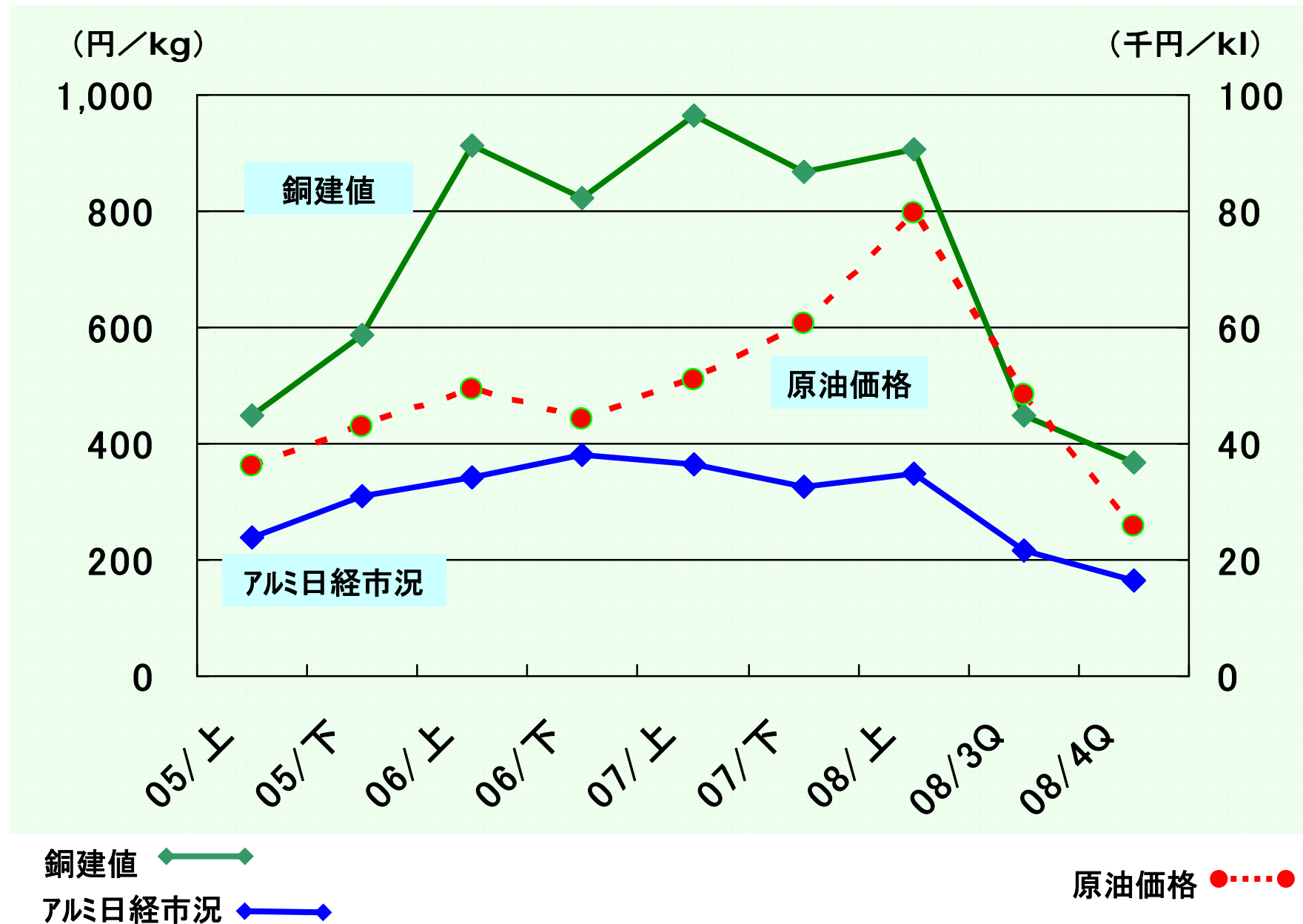
| 連結 | 07年度 | 08年度 | 増減 | 伸率% |
|-------|------|------|------|-------|
| 売上高 | 3276 | 2782 | △494 | △15.1 |
| 営業利益 | 180 | △77 | △257 | — |
| 経常利益 | 133 | △143 | △276 | — |
| 当期純利益 | 54 | △181 | △235 | — |

| | | | |
|-------|----|-----|----|
| 設備投資 | 82 | 92 | 10 |
| 減価償却費 | 84 | 106 | 22 |

* 特別損益内訳(主要科目)

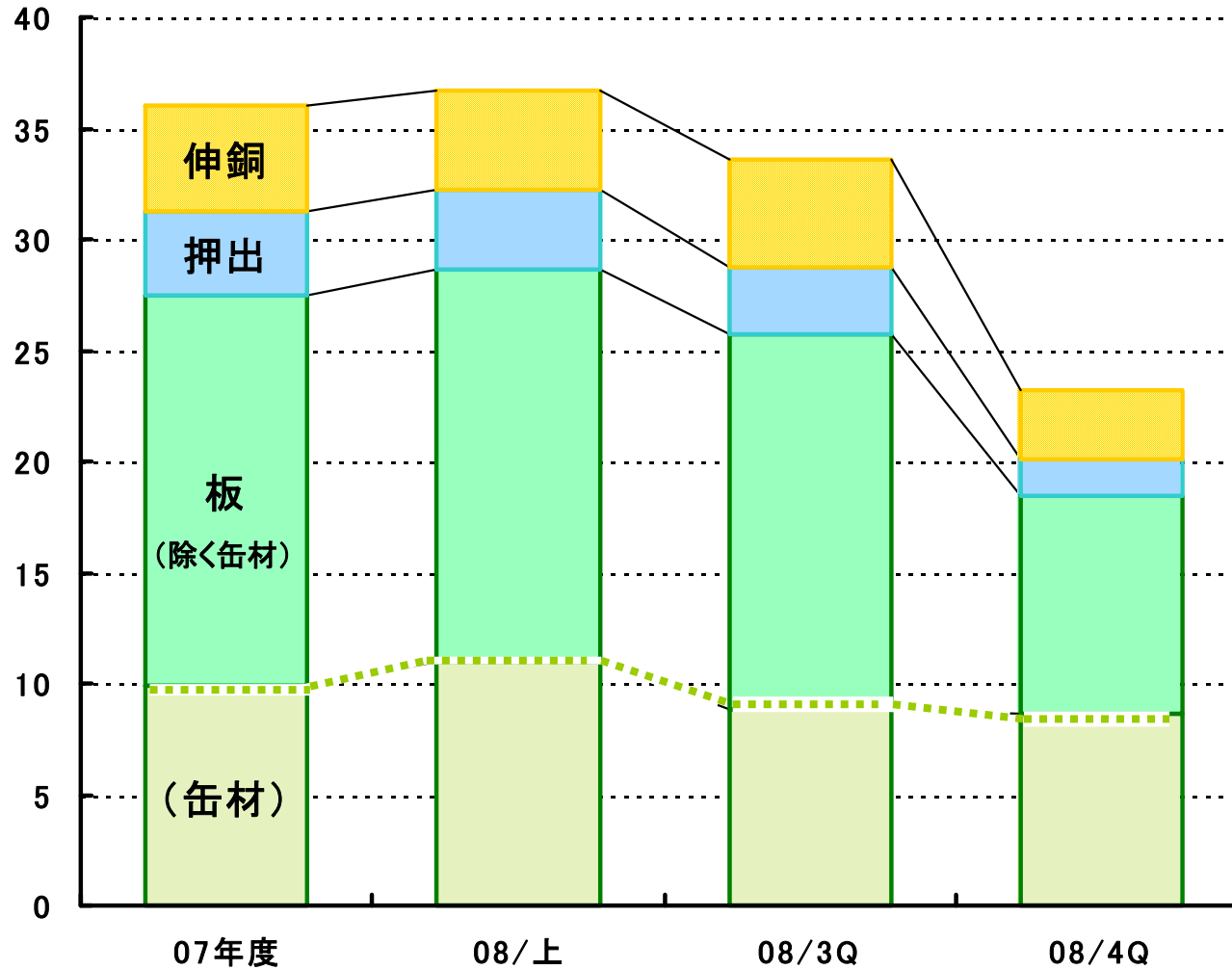
| | 07年度 | 08年 |
|-----------|------|-----|
| 新日東金属事業譲渡 | △26 | — |
| 過年度時間外手当 | — | △4 |
| 投資有価証券評価損 | — | △9 |

⑤アルミ・銅地金及び原油価格推移



⑥ 品種別販売量推移(単体)

千トン/月



<対07年度比>

伸銅 63.8%

押出 44.7%

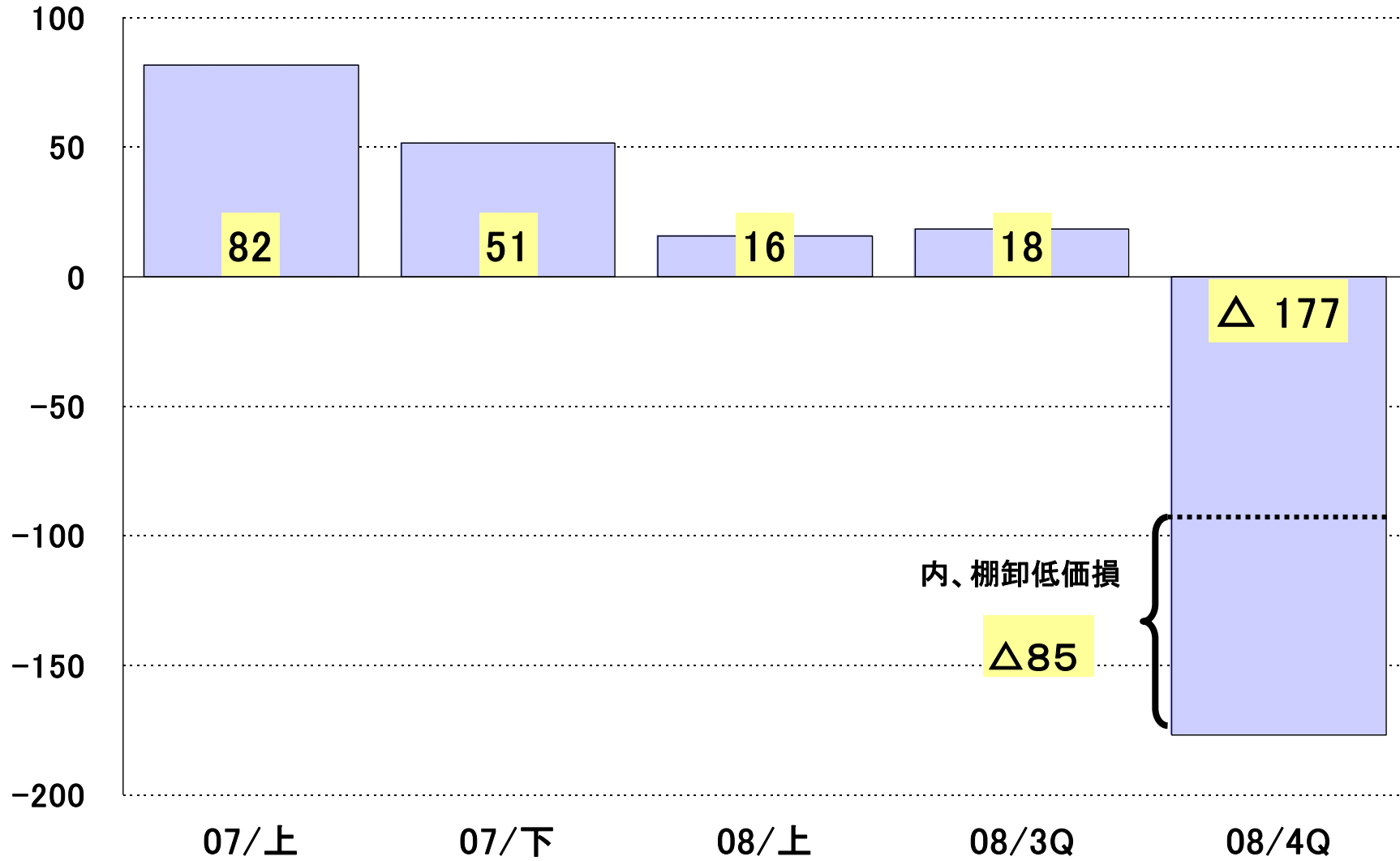
板 67.2%

〔板(除く缶材) 55.8%〕

〔缶材) 87.2%〕

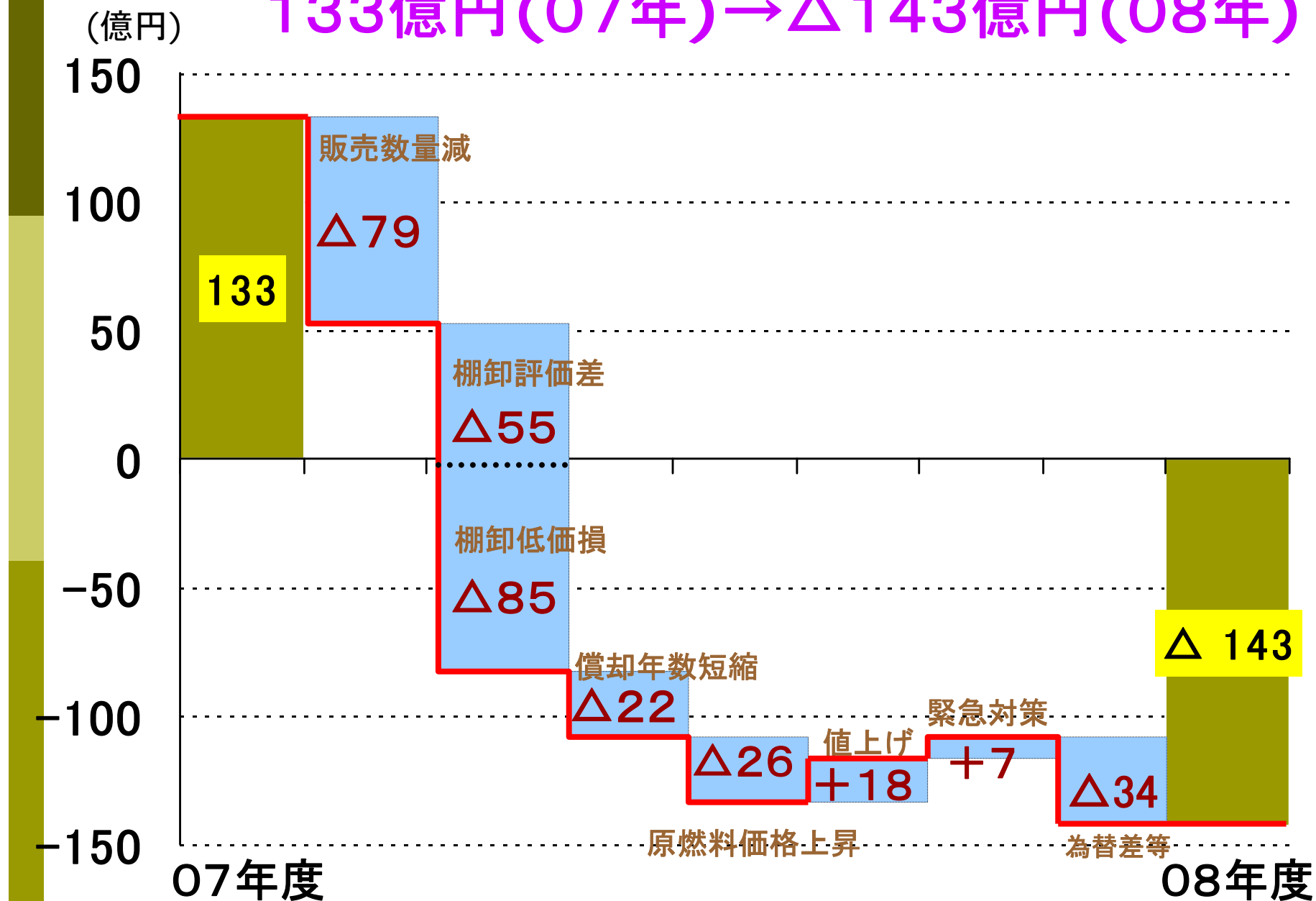
⑦ 連結経常利益推移

(億円)



⑧ 損益分析

133億円(07年) → Δ 143億円(08年)



⑨緊急対策の実施（H21年1月より実施）

11

- 臨時休業の実施（2日／月）及び残業の抑制
- 派遣社員を中心とした人員削減
- 役員報酬の減額
- 補修費の抑制
- 諸経費の削減
- 設備投資の抑制

コスト削減
効果

H20年度（4Q）7億円

⑩連結B/S主要項目

(単位：億円)

| 連結 | 08年3月末 | 09年3月末 | 増減 |
|---------|--------|--------|-------|
| 株主資本 | 504 | 321 | △183 |
| 評価・換算差他 | 67 | △132 | △199 |
| 純資産 | 571 | 189 | △382 |
| 純資産比率 | 15.2% | 5.9% | △9.3% |
| 総資産 | 3745 | 3213 | △532 |
| 有利子負債 | 1966 | 2058 | 92 |

2. 单体概要

①売上高

(単位:千ト、億円)

| | 07年度 | | 08年度 | | 増減 | |
|-------|------|------|------|------|-----|------|
| | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 |
| アルミ板 | 330 | 1410 | 304 | 1273 | △26 | △137 |
| アルミ押出 | 45 | 340 | 36 | 260 | △9 | △80 |
| 伸銅品 | 58 | 585 | 50 | 508 | △8 | △77 |
| その他 | — | 88 | — | 51 | — | △37 |
| 合計 | — | 2423 | — | 2092 | — | △331 |

* 売上高対前期増減事由

| 数量減少 | 値上げ | 地金価格差 | 計 |
|------|-----|-------|------|
| △290 | 14 | △55 | △331 |

②販売の概況

- 需要全般は上半期は堅調であったものの経済危機により4Qで大幅減。
- 分野別では、缶材は堅調であったものの自動車向けをはじめとした他分野は減少。
- 売上高は販売量減少に加えて、地金価格下落により減少。

③ 損益

(単位：億円)

16

| | 07年度 | 08年度 | 増減 | 伸率% |
|-------|------|------|------|-------|
| 売上高 | 2423 | 2092 | △331 | △13.6 |
| 営業利益 | 104 | △102 | △206 | — |
| 経常利益 | 72 | △128 | △200 | — |
| 当期純利益 | 16 | △176 | △192 | — |

| | | | |
|-------|----|----|----|
| 設備投資 | 71 | 63 | △8 |
| 減価償却費 | 63 | 86 | 23 |

* 特別損益内訳(主要科目)

| | 07年度 | 08年度 |
|-----------|------|------|
| 新日東金属事業譲渡 | △33 | — |
| 減損損失 | — | △13 |
| 投資有価証券評価損 | — | △8 |

3. 今期業績予想

① 今期業績見通しのポイント

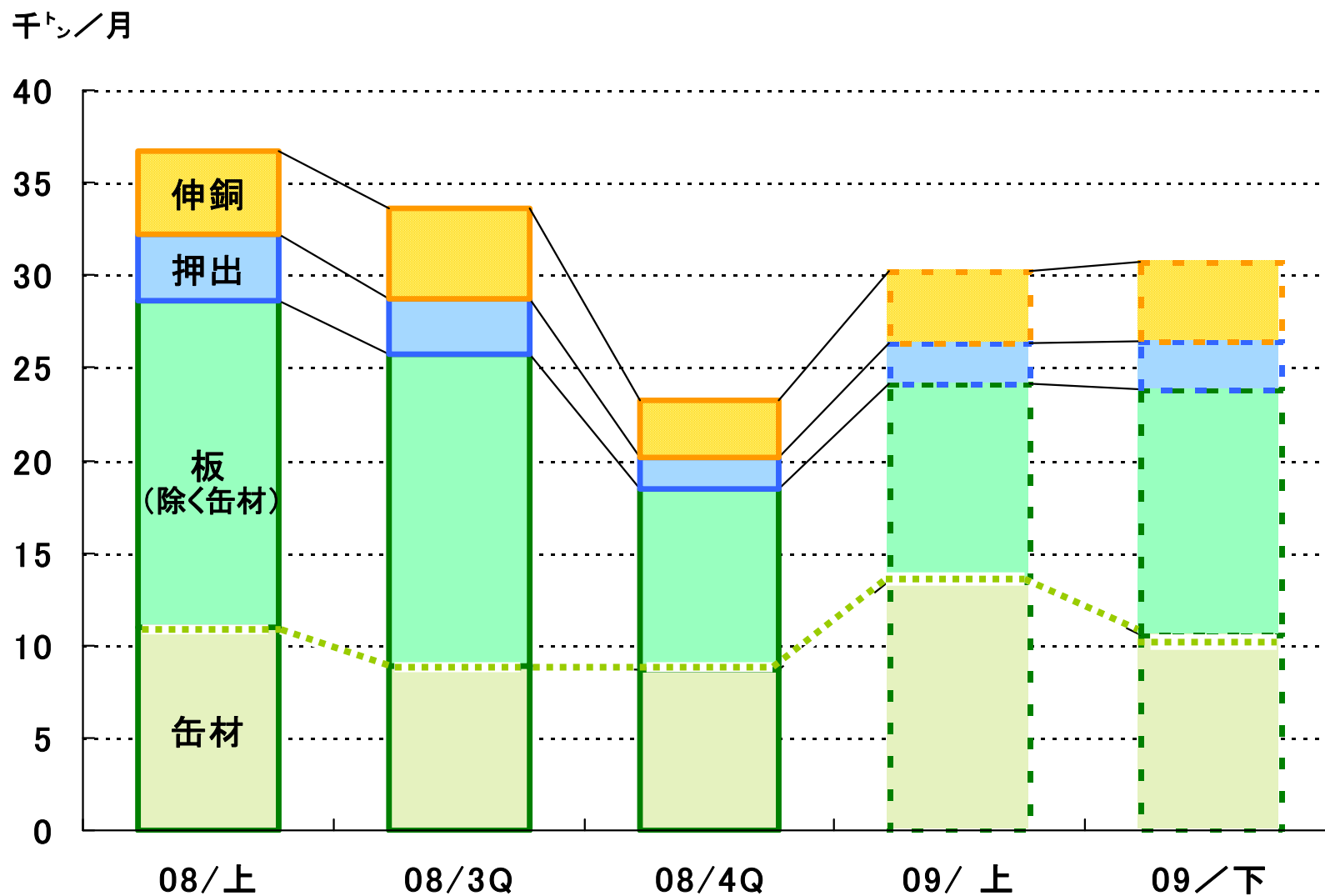
◆ 足元の状況

- 自動車関連の在庫調整はほぼ終了。巡行速度は6割から7割。
- 情報家電も在庫調整は終わったが、回復はまだら模様。
- ビール需要が微減だが第三のビールシェアは上がり缶材は増加傾向。
- ハイブリッド車へのシフトでアルミパネル材は大増産準備中。

◆ 経常損益黒字化

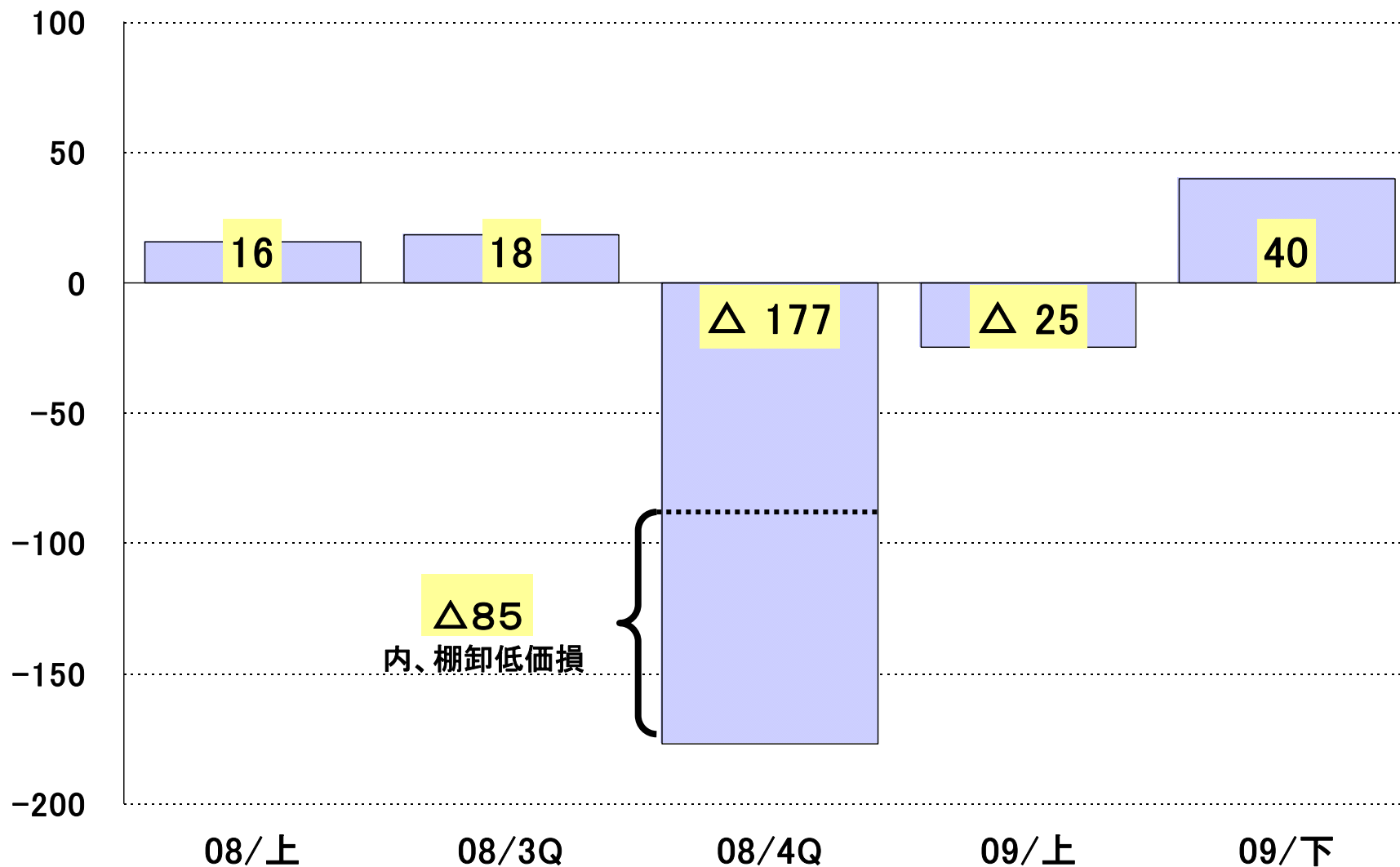
- ① 販売数量減少(△39億円)
- ② 損益改善緊急対策実施の効果(+48億円)
- ③ 棚卸評価関係(+91億円)

②品種別販売量推移(単体)



③ 連結經常利益推移

(億円)



④連結損益予想

(単位：億円)

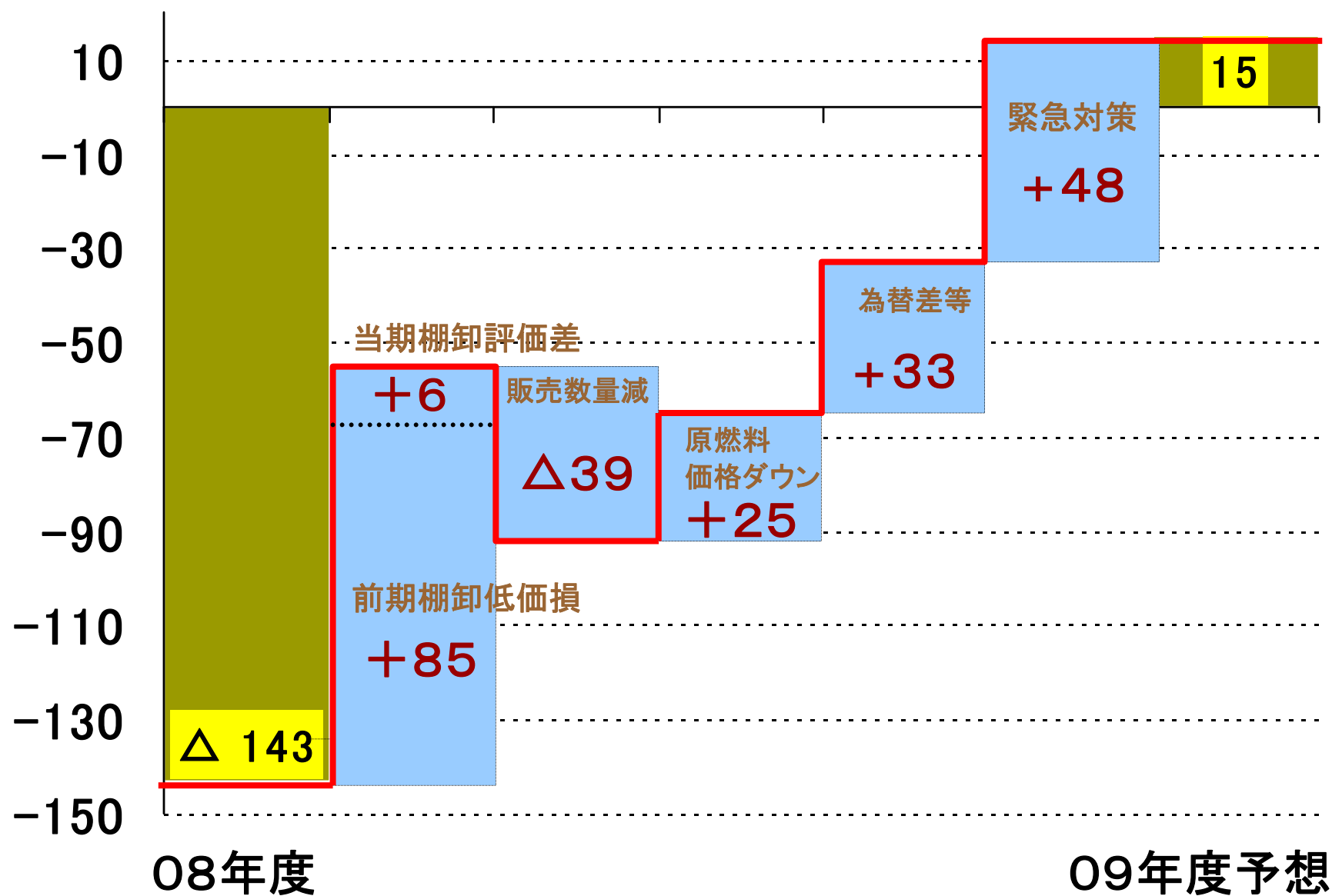
| 連 結 | 08年度 実 績 | 09年度 予 想 | 伸率% |
|-----------|-------------|-------------|-------|
| 売 上 高 | 2782 | 2300 | △17.3 |
| 営 業 利 益 | △77 | 60 | — |
| 経 常 利 益 | △143 | 15 | — |
| 当 期 純 利 益 | △181 | 25 | — |
| 設 備 投 資 | 92 | 50 | |
| 減 価 償 却 費 | 106 | 102 | |

* 前提となる市況

| | | |
|---------|-----|------------|
| アルミ日経市況 | 銅建値 | 為替(円/US\$) |
| 170 | 315 | 90 |

⑤ 損益分析

(億円) $\Delta 143$ 億円(08年) \rightarrow 15億円(09年予想)



⑥販売計画量（単体決算）

（単位：千ト、億円）

| | 08年度 | | 09年度 | | 増減 | |
|-------|------|------|------|------|-----|------|
| | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 |
| アルミ板 | 304 | 1273 | 288 | 1066 | △16 | △207 |
| アルミ押出 | 36 | 260 | 28 | 183 | △8 | △77 |
| 伸銅品 | 50 | 508 | 49 | 322 | △1 | △186 |
| その他 | — | 51 | — | 29 | — | △22 |
| 合計 | — | 2092 | — | 1600 | — | △492 |

⑦各部門のポイント

<共通>

- 緊急対策の継続と人件費削減対策の拡大。
- 在庫削減等によるキャッシュフローの創出。
- 環境関連を中心とした新規需要の開拓。

<板>

- 技術開発を活かした高付加価値品のシェア拡大と新規用途の創出。

<押出>

- グループ押出事業再構築の検討と新規戦略分野の開拓。

<伸銅>

- エコ給湯分野及び海外コンデンサー物件の拡販。

⑧ 単体損益予想

(単位: 億円)

| | 08年度 実績 | 09年度 予想 | 伸率% |
|-----------------|------------|------------|-------|
| 売上高 | 2092 | 1600 | △23.5 |
| 営業利益 | △102 | 50 | — |
| 経常利益 | △128 | 5 | — |
| 当期純利益 | △176 | ※ △35 | — |
| 1株当たり 配当金(円) | — | — | |
| 設備投資 | 63 | 40 | |
| 減価償却費 | 86 | 82 | |

※特別損益内訳(主要科目)

(現)日本アルミ清算損 △55

4. 新中期経営計画策定 について

① 現2010年計画 基本方針

①技術開発力の強化

②重点事業ユニットの強化

< 板 > 冷間圧延機(薄板専用)更新 [10/4稼動予定]

< 箔 > PTP対応塗装ライン導入 [09/2稼動]

東洋アルミニウムとの電極箔事業での業務提携

[08/6契約締結]

< 押出 > フロントフォーク専用ライン導入 [07/9稼動]

千葉・自動車熱交多穴管ライン増設 [07/9稼動]

チェコ・自動車熱交多穴管ライン増設[09/9稼動予定]

神戸製鋼所との業務提携継続 [08/12更新]

< 伸銅 > 中国(広州)銅管転造機増設 [07/3稼動]

③内部統制・コンプライアンスの強化・確立

④更なる有利子負債の削減

- ・棚卸資産の圧縮削減
- ・現預金の圧縮等の資金効率化
- ・投資資産の見直し などによる資金創出
社内プロジェクトで検討・順次実施中

⑤グループ経営資源の有効活用と再構築

- ・住軽加工の日本アルミへの統合 [06/10]
(溶接構造物加工の集約)
- ・日本トレクス 株式譲渡 [07/4]
- ・新日東金属 事業譲渡 [07/10]

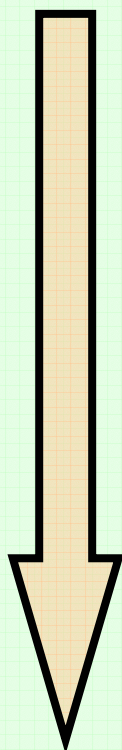
② 数値目標

(単位：億円)

| 【連結】 | 06年度 実績 | 07年度 実績 | 08年度 実績 | 10年度 目標 |
|-------|------------|------------|------------|-------------------|
| 売上高 | 3491 | 3276 | 2782 | 3900 |
| 営業利益 | 201 | 180 | △77 | 235 |
| 経常利益 | 150 | 133 | △143 | 180 |
| R O A | 5% | 5% | △2% | 6% |
| 有利子負債 | 2054 | 1966 | 2058 | (△400/4年) 1650 |
| 純資産比率 | 12% | 15% | 6% | 20% |

③新中期経営計画策定について

『2010年計画』見直しの必要性



- ① 経済環境の激変による業績の大幅な悪化
米国バブルの崩壊に伴う世界実体経済の収縮
売上の急減と原料価格暴落による大幅な赤字計上
- ② 国内需要構造・産業構造の変化
自動車国内生産の縮小と小型化・環境対応化(軽量化)
住宅関連需要の縮小と業界需給バランスの悪化
業界再編の進展
新興国・資源国需要の拡大顕在化
- ③ 成長戦略の明確化

新体制による

『新中期経営計画』の策定と実行

『新中期経営計画』策定の骨子

①コスト構造改革（筋肉体質へ）

70%操業でも利益を出せるコスト構造へ
財務体質の早急な強化

②縮小経済下での成長戦略

成長分野への取組強化
新たな海外展開の検討

③『2010計画』基本方針の完遂

- ・技術開発力の強化
- ・更なる有利子負債の削減
- ・重点事業ユニットの強化
- ・グループ経営資源の有効活用と再構築
- ・内部統制、コンプライアンスの強化、確立

策定スケジュール（予定）

2010年1月 …… 策定完了

2010年2月 …… 公表

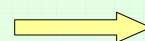
『新中期経営計画』策定における各事業部門の重点課題

＜板事業／伸銅事業＞

- ① コスト構造改革(70%操業でも利益の出せるコスト構造へ)
- ② 成長戦略のビルトイン

＜押出事業＞

- ① グループとしての事業再編
- ② コスト構造改革
- ③ 成長戦略のビルトイン



計画検討着手

＜加工品事業＞

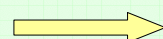
- ① グループとしての事業再編

《0次ステップ》2009年7月・・・株式交換による日本アルミ完全子会社化

《第1次再編》2009年10月・・・日本アルミの新会社化

(予定)

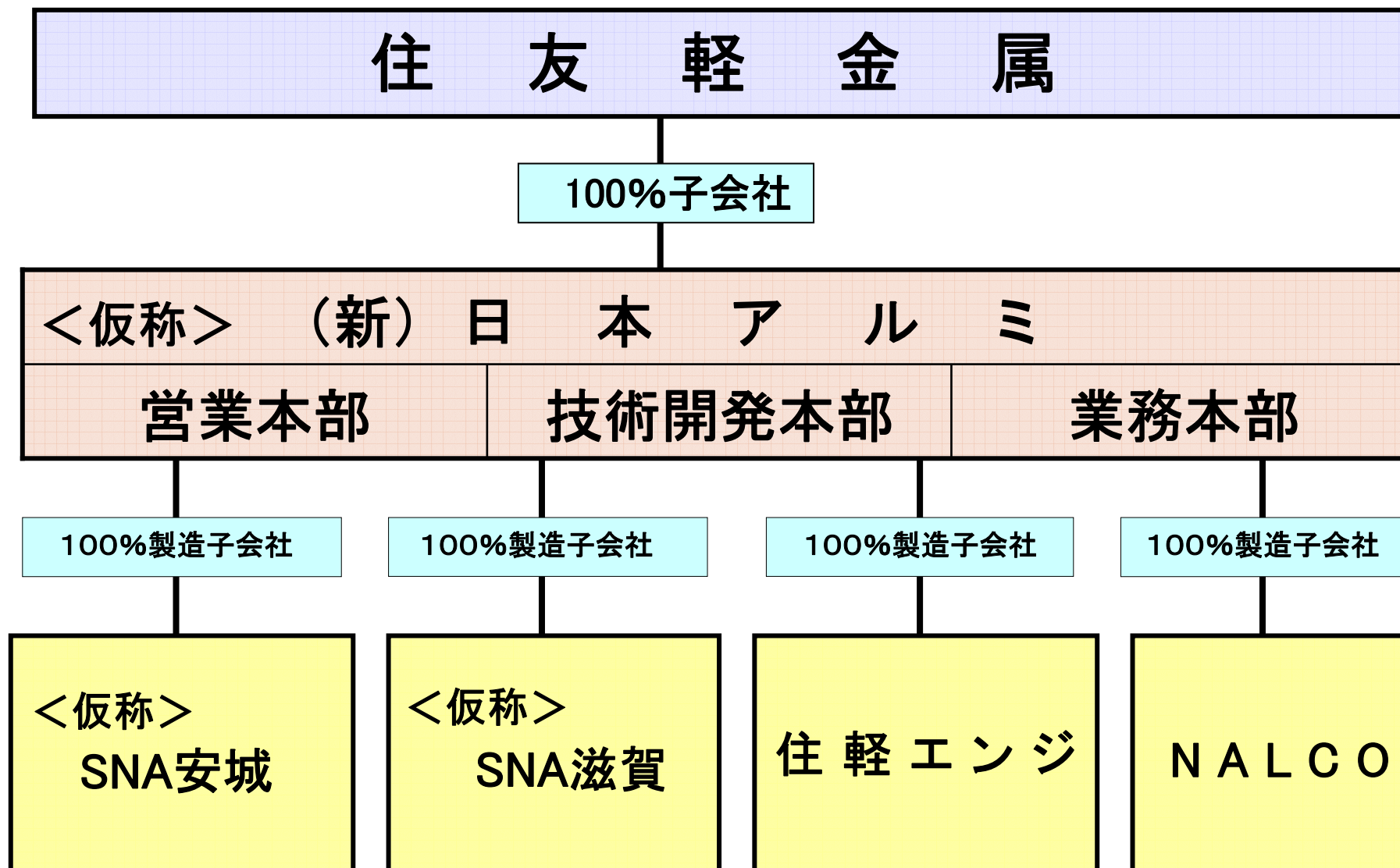
同社を中心とした事業新体制の構築



さらに詳細計画を策定中

- ② 成長戦略のビルトイン

④第1次再編概要図

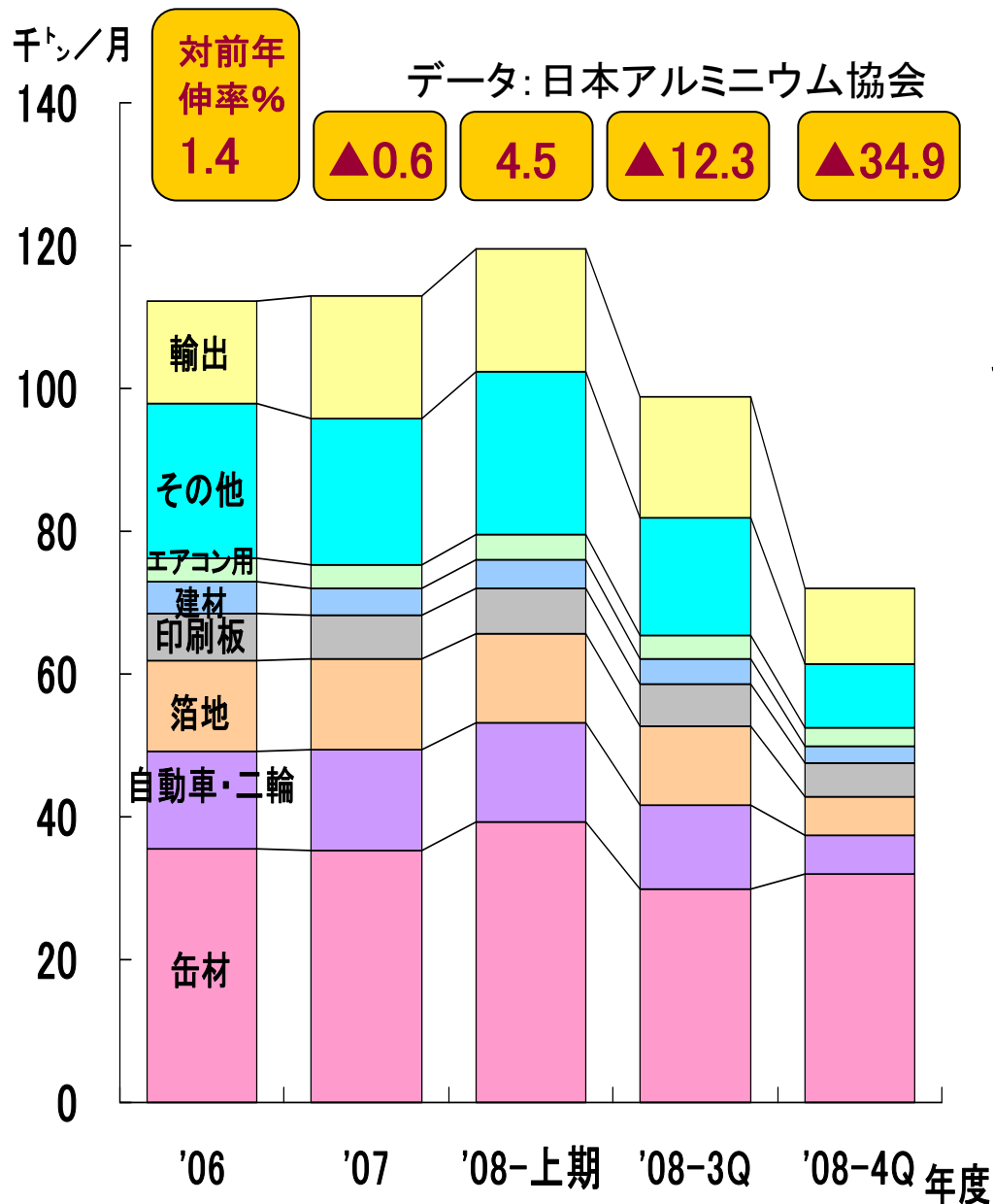




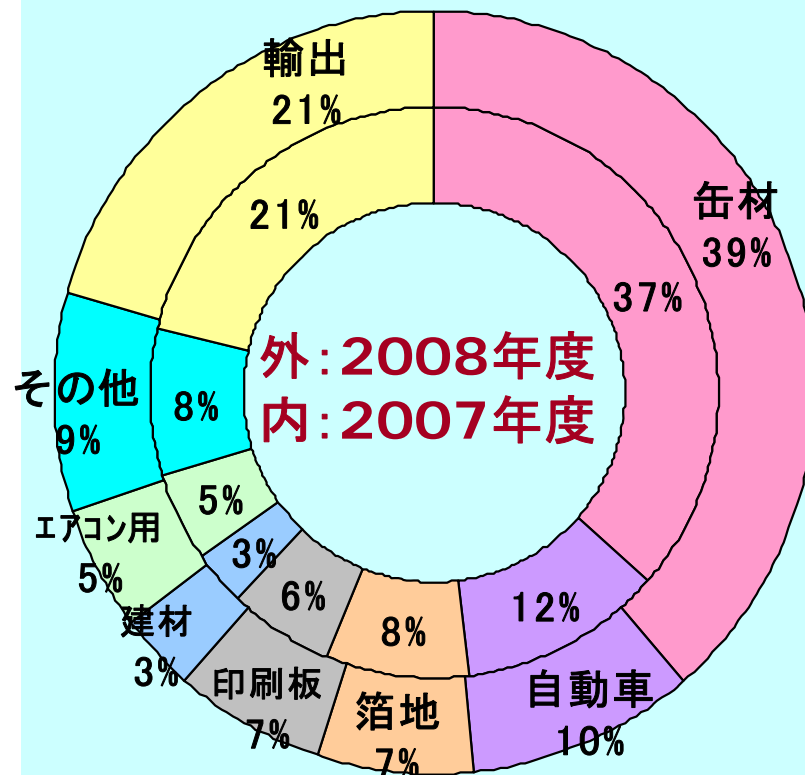
(参考資料)
需要分野別販売概要

① アルミ板

<業界全体出荷量>

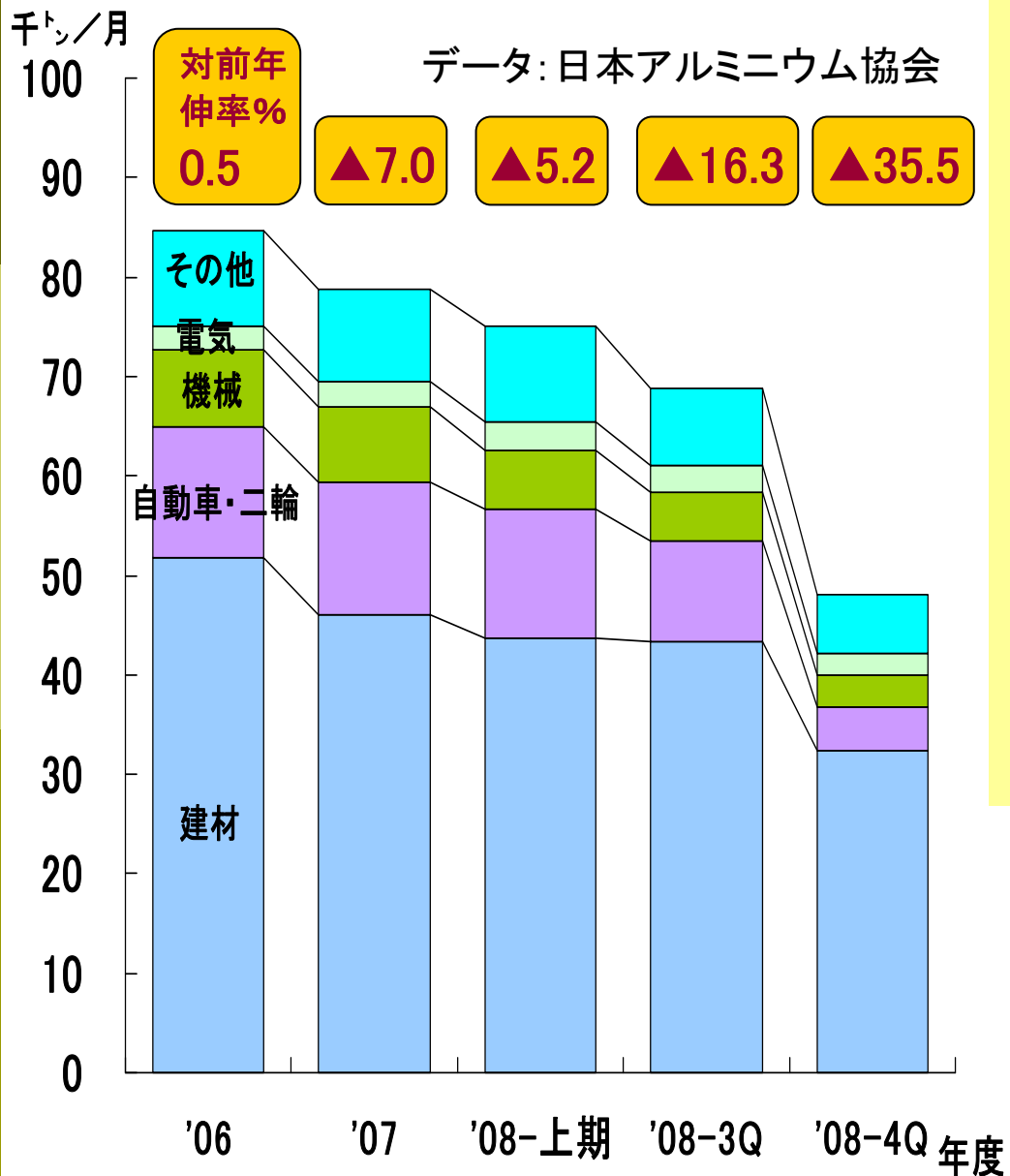


<当社販売量>

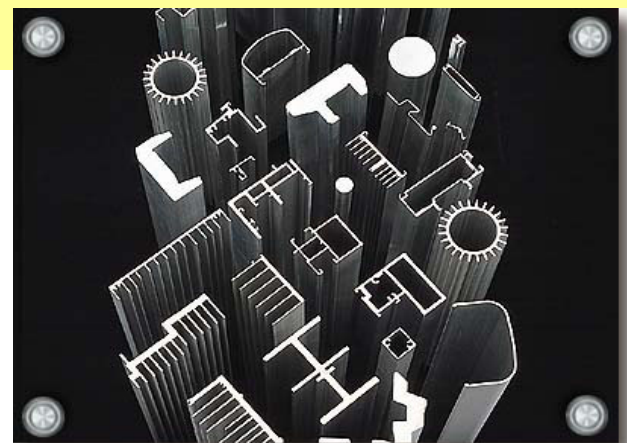
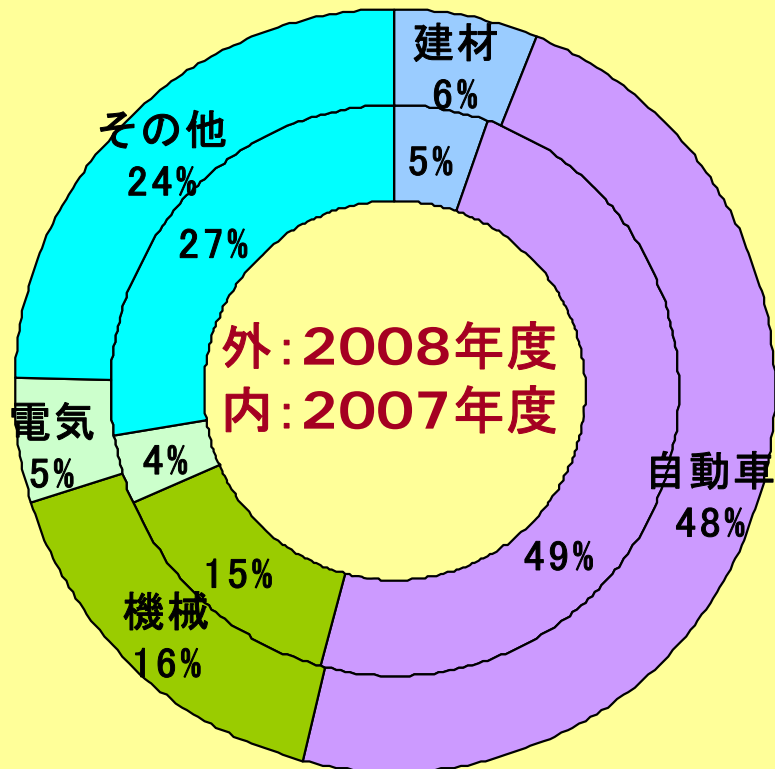


② アルミ押出

<業界全体出荷量>

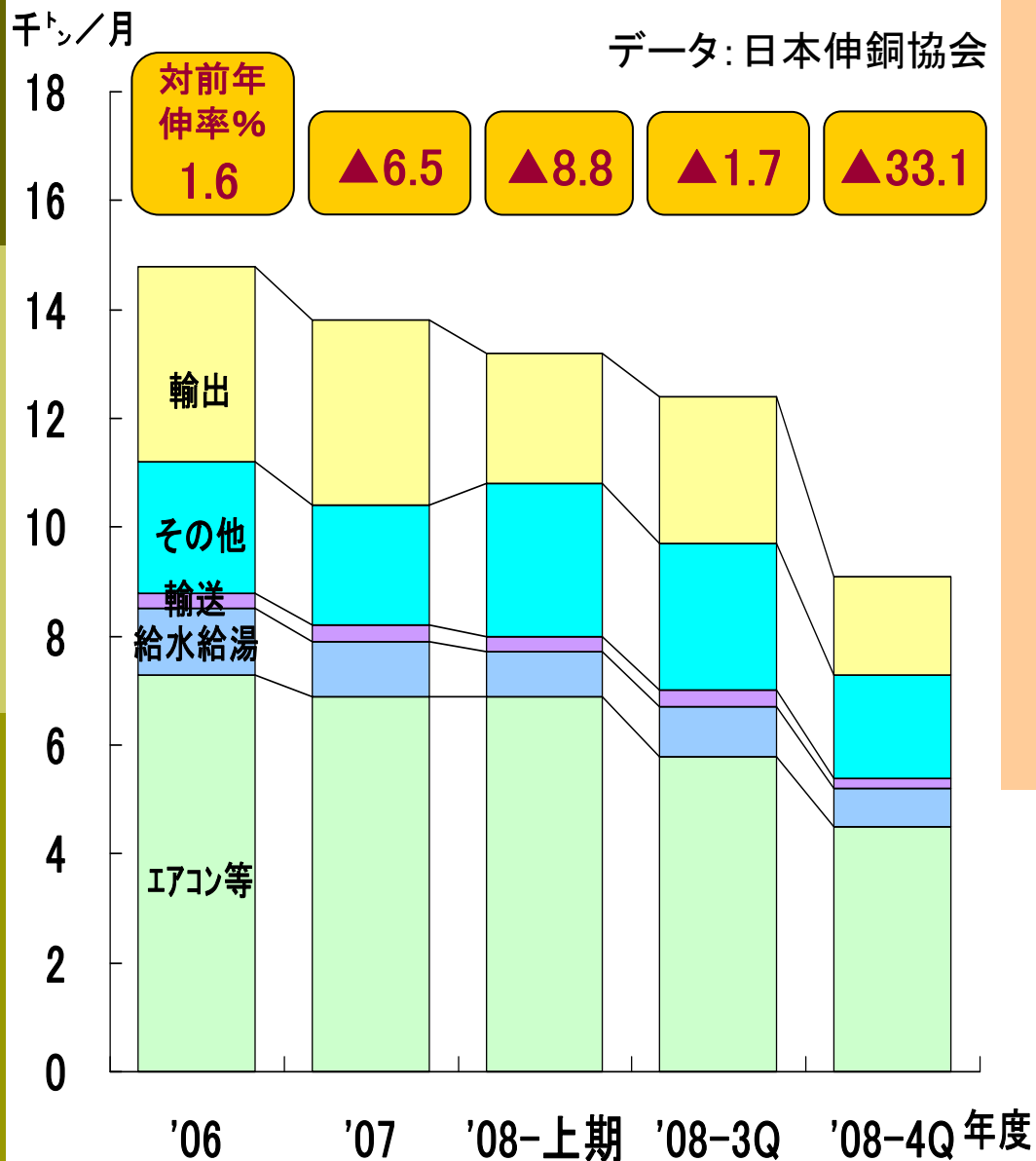


<当社販売量>

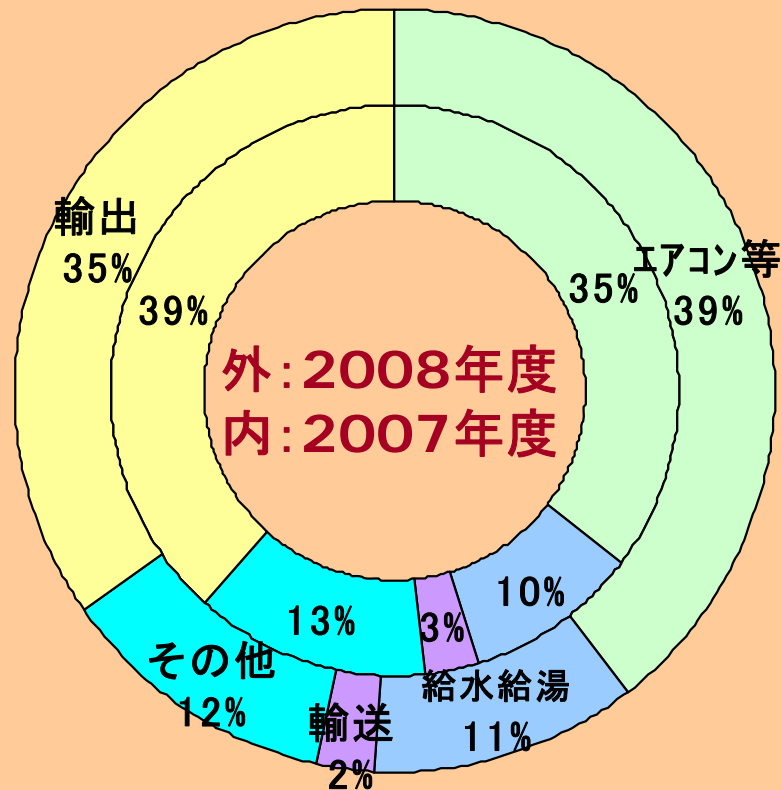


③ 銅管出荷量

<業界全体出荷量>



<当社販売量>



将来見通しに関する注意事項

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料の中には、弊社の予想・確信・期待・意向及び戦略など、将来の予測に関する内容が含まれております。これらは、弊社が説明会の時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて作成されており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関する如何なる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

本資料に関する著作権・商標権その他全ての知的財産権は、当社に帰属します。